

# 人権の尊重

## 基本的な考え方

OKIグループは、企業理念に掲げた「進取の精神」のもと社会課題解決への貢献を目指す企業として、業務を通してつながる一人ひとりの人権に配慮することが、あらゆる活動の基盤と認識しています。「国連グローバル・コンパクト」の署名企業として、「国際人権章典」「労働における基本原則および権利に関する国際労働機関（ILO）宣言」などの人権に関わる国際規範を尊重し、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づいた取り組みを推進します。

こうした考え方について、グループのすべての役員・社員、そしてOKIグループの事業、製品やサービスに直接関わるサプライヤーやその他の関係者にも理解をいただくべく、2022年度に国連「ビジネスと人権に関する指導原則（UNGPs）」を踏まえた「OKIグループ人権方針」を制定しました。

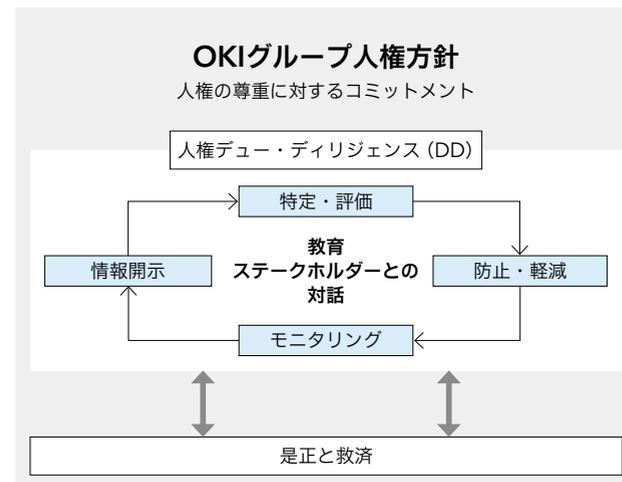
OKIグループ人権方針 <https://www.oki.com/jp/sustainability/social/humanrights/>

## 体制

人権に関する取り組みは下図に示すとおり、サステナビリティ推進体制の中でテーマごとに推進しています。引き続き、「OKIグループ人権方針」に則って体制を整備し、企業活動における人権に関する負の影響を特定して、これを防止または軽減するための仕組みを構築・運用していきます。

なお「是正と救済」については、グループ外のライツホルダーを対象とした窓口の設置を検討中です。

### OKIグループ人権方針の構成とテーマ別担当部門



テーマ	担当部門
人権方針の浸透	サステナビリティ推進部門
人権DD企画・推進	サステナビリティ推進部門
<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内の人権・労働関連リスク管理（人権・ハラスメント教育含む）</li> </ul>	人事総務部門
<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーンの人権・労働調査（CSR調達）</li> </ul>	調達部門
<ul style="list-style-type: none"> <li>AI倫理（AIガバナンス）</li> </ul>	技術部門
内部通報制度	リスクマネジメント部門
OKIグループ危機等連絡体制	リスクマネジメント部門
ハラスメント相談窓口	人事総務部門

## マテリアリティの取り組みと実績

マテリアリティ	主な取り組みテーマ	2023～2025年度の取り組み	2023年度の実績
持続的成長を支える経営基盤強化	人権尊重の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>UNGPIに則った体制整備、および人権DDの継続的な運用に向けた取り組み</li> <li>国内外の議論を踏まえたAIガバナンスの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種教育の実施（サステナビリティ教育 受講率 98.5%）など（下記参照）</li> <li>AIリスク評価の実践型トレーニングを開始</li> </ul>

### 2023年度の主な取り組み

- 「OKIグループ人権方針」の社内浸透のため、前年度に続き、国内グループ全社員向けサステナビリティ教育（2023年12月～2024年1月実施、受講率98.5%）で説明
- 人権・ハラスメントを含む「労働環境」をテーマとした国内グループ向けeラーニングを常時開催。各階層別教育に「ハラスメント」を組み込み、グループ報において「職場のハラスメント」解説記事を掲載
- 「OKIグループサプライチェーンCSR推進ガイドブック」に基づくCSR調達調査を実施し、サプライチェーンにおける人権・労働・安全衛生などのリスクを評価（P.51参照）
- 人権などに配慮した「責任ある鉱物調達」を推進する「Responsible Minerals Initiative（RMI）」に加盟（2023年8月）

## AI倫理（AIガバナンス）の取り組み

生成AIを中心にAI活用が進む現在、人権問題をはじめとするAIの社会的影響やリスクについても、世界規模で議論が行われています。OKIグループは「OKIグループAI原則」に則り、リスク管理・品質マネジメント・人材育成の3つの観点でAIガバナンスを推進しています。

品質マネジメントにおいては、AI関連商品の提案・開発段階で専任メンバーがリスクを評価し、結果に基づくお客様との対話などによりAI品質を高める運用を実施しています。2023年度は各事業部門で品質保証に携わるメンバーが自らAIリスクを評価できるよう、従来のAIビジネス研修に加え専門家による実践型のトレーニングを開始しました。また、グループ内のさまざまな業務において社員が生成AIを安全に活用できるよう、セキュリティ対策を徹底したグループ内向けの生成AI基盤を整備し、AIを安全に使うためのガイドライン、教育コンテンツとともに「OKI AI Chatシステム」として2023年11月に提供を開始しました。このシステムを安全かつアクティブに使いこなす「生成AI活用人材」を数千人規模に広げることで、グループとしてAIの理解を深め、事業に積極活用するマインドを醸成します。

### AIガバナンスの3つの観点



OKIグループAI原則 <https://www.oki.com/jp/technology/ai/principle.html>